

令和7年度取り組み状況

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

①各集落への防災講話 ②気象防災ワークショップ



③小中学校における防災学習



④大学の講義として砂防堰堤を案内



⑤ぼうさいこくたい2025



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 各集落への洪水・土砂災害に関する防災講話(出前講座)、気象防災ワークショップの実施(①、②)
- 小中学校における防災学習の実施(③)
- 避難行動時の要支援者との関わりについて学ぶ避難支援セミナーの実施
- 『田んぼダム』研修会、流域流木連携を目指した勉強会等の開催
- 大学の講義として、R4.8出水で土石流を補足した砂防堰堤の案内(④)
- 絵本「小岩内のきせき」によるR4.8新潟北部水害を風化させない取り組み。
- 防災・気象情報の普及・啓発(⑤)

リスク情報等の提供

- リアルタイムの情報提供(カメラ画像、危機管理型水位計、サイレン等)やプッシュ型情報の発信を実施(⑥、⑦、⑧)
- 水害リスクマップの作成・公表(⑨)
- ハザードマップの作成・普及・活用に係る説明会の実施
- 避難判断基準の解説、市町村との連携強化を目的とした市町村訪問の実施
- 大雨時の市町村ホットラインを通じた解説
- 気象情報の充実・予測精度の向上強化
- 防災アプリの開発・導入・防災無線設備更新(⑩)

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況創出する。

⑥ため池に監視カメラを設置



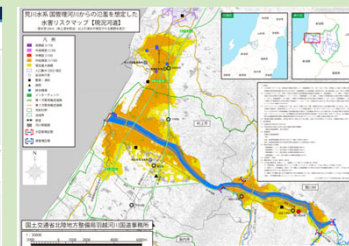
⑦河川監視カメラの画像



⑧県河川砂防情報システム



⑨水害リスクマップの作成・公表



⑩防災アプリ



③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

令和7年度取り組み状況

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

①水防・防災訓練



荒川水防訓練

②排水ポンプ車実働訓練



排水ポンプ車実働訓練
(高田排水樋管)

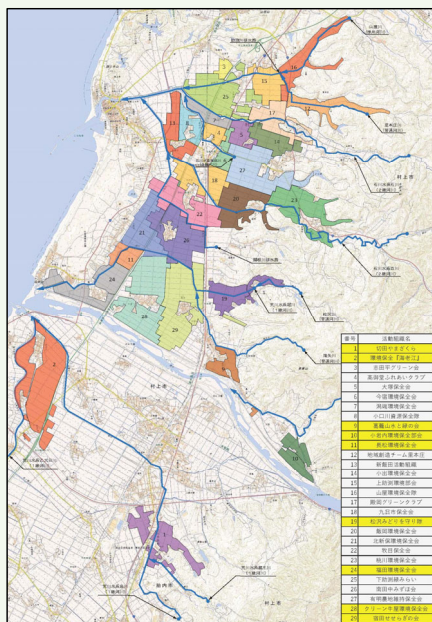
③荒川合同巡視



⑤流域タイムライン

項目	実施内容	実施時期	実施場所	実施者	備考
1	流域防災訓練	7月	荒川	関係機関	
2	排水ポンプ車実働訓練	8月	高田排水樋管	関係機関	
3	荒川合同巡視	9月	荒川	関係機関	
4	田んぼダム取組組織図	10月	田んぼ	関係機関	
5	流域タイムライン	11月	流域	関係機関	
6	コミュニティタイムラインに沿った避難訓練	12月	コミュニティ	関係機関	

④田んぼダム取組組織図



⑥コミュニティタイムラインに沿った避難訓練



防災・避難訓練(避難所開設)

訓練活動

- 洪水対応演習、水防訓練、防災訓練、排水ポンプ車実働訓練への参加・継続実施(①、②)
- 自主防災組織の組織化への働きかけ
- コミュニティタイムラインに沿った避難訓練(⑥)
- 防災訓練での土石流模型実験装置展示による砂防堰堤の役割や効果の説明
- 災害時の調査を想定したUAV飛行訓練実施

水災害対策の支援

- 地域の自主的な取り組み(研修会)に対する支援
- 『田んぼダム』取組組織への多面的機能支払交付金による支援(④)
- 村上市南部広域協定(50組織)事務局による事務的支援の継続実施

計画策定

- 個別避難計画作成の促進
- 要配慮者施設における避難確保計画の策定・講習の実施
- 国、県、自治体が災害発生前に取るべき防災行動の共有、および災害対応の向上を図るための流域タイムラインの運用開始及びマイタイムラインの普及促進(⑤)
- 洪水キキクルや流域雨量指数の予測値HP等の利活用を考慮した地域防災計画(避難判断基準・配備基準の明確化、避難所・避難場所の拡充、整備、指定化等)・水防計画の改定支援の実施

水防活動の支援

- 荒川合同巡視への参加(③)
- 水防団員の募集

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況創出。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	令和9年の「羽越水害から60年」、「R4年8月豪雨から5年」に向け啓発			
	◎連携活動 地域 個人 企業・団体	広報誌・チラシ等で水難防止を啓発			
		流域治水の広報活動			
県との協力による避難確保計画作成及び修正に資する講習会プロジェクトの実施					
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信を実施			
		浸水想定区域図の作成・公表、ハザードマップ・マイタイムラインの作成・普及・活用に係る説明会の実施			
		避難判断基準の解説、市町村との連携強化を目的とした市町村訪問の実施、大雨時の市町村ホットラインを通じた解説			
	◎教育活動 地域 個人	出前講座、説明会、小中学校における水災害教育			
		防災講話、ワークショップ、防災学習、セミナー等の実施			
	◎訓練活動 地域 個人 企業・団体	UAV飛行訓練等の実践的訓練			
洪水対応演習、水防訓練、防災訓練、排水ポンプ車実働訓練等への参加、継続実施					
自主防災組織の組織化への働きかけ					
③ 行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	個別避難計画作成の促進			
		要配慮者施設における避難確保計画の策定・講習の実施			
		国、県、自治体が災害発生前に取るべき防災行動の共有、および災害対応の向上をはかるための流域タイムラインの運用開始			
		洪水キキクルや流域雨量指数の予測値HP等の利活用を考慮した地域防災計画・水防計画の改定支援の実施			
	◎水災害対策の支援 企業・団体	地域の自主的な取組に対する支援、『田んぼダム』取組組織への多面的機能支払交付金による支援等			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防団員の募集			
		荒川合同巡視への参加			